B+COM 6X ヘルメット取付資料

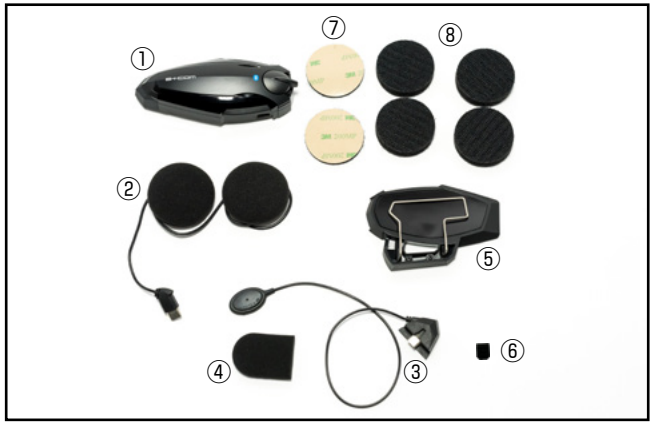
CORSA R

(クイックマニュアルと併せてご覧ください)

SYGN HOUSE

AGV CORSA R

①準備



用意するもの

No	名称	数量
①	B+COM SB6X 本体ユニット	1
②	スピーカー	1
③	ワイヤーマイク	1
④	ワイヤーマイク用スポンジ	1
⑤	ベースプレート	1
⑤	ワイヤークリップ（クリップで使用する場合）	1
⑤	保護ラバー（クリップで使用する場合）	1
⑤	面ファスナー（貼付で使用する場合）	1
⑥	スピーカーハーネス固定用クリップ	1
⑦	スピーカー固定用面ファスナー	2
⑧	スピーカー固定用調整パッド	4

スピーカー裏面へベルクロフック (硬い方) を貼り付ける。

ワイヤークリップタイプのベースプレートを取り付けた場合
※固定力が不足する場合は、貼り付け型に切り替えてください。

ベース用面ファスナーを貼り付けた場合
※面ファスナー貼付前に必ず貼付箇所の脱脂を行って下さい。

SYGN HOUSE

AGV CORSA R

②スピーカーの取付

チークパッドと一体になっている内装を取り外します。

ヘルメット右側の耳の位置に面ファスナーを貼り、スピーカーを取り付けます。

＜重　要＞

スピーカー位置の微調整をします。耳とスピーカーの間に隙間がある場合、必ずスピーカー調整スポンジで調整してください。
※チンストラップ側の V 字ラインに寄せるのがコツです。
※スピーカーの中心と、耳穴の中心が合う状態がベストです。

ヘルメット後方のスナップ２つを外し、配線をスナップの内側に通します。

左側も同様にスピーカーを取り付けます。

配線が余る場合には、スナップやスピーカーの周囲に巻き付けるようにして長さを調節してください。

SYGN HOUSE

AGV CORSA R

③マイク取付

顎付近のエアインテークを避けながら、ワイヤーマイク用スポンジを貼り付けます。
※マイクスポンジを貼り付ける位置は調整が必要です。
　風切り音等を拾う場合には、位置を変えてください。

ワイヤーマイクを挿し込みます。
※マイクの向きに注意してください。
　裏表を逆にすると、音声を拾い難くなります。
　（穴の空いている面が集音側です。）

ヘルメットの内装を元に戻します。

チークパッドを元に戻します。
スピーカーの配線はヘルメット後方、図の隙間の部分から通すと、配線への負担を軽減させることが出来ます。

マイクの配線は、図のタグの中を通すと、より綺麗に取り付ける事が出来ます。
※レスキュー用タグの機能が損なわれないよう注意してください。

ベースプレートを取り付けます。

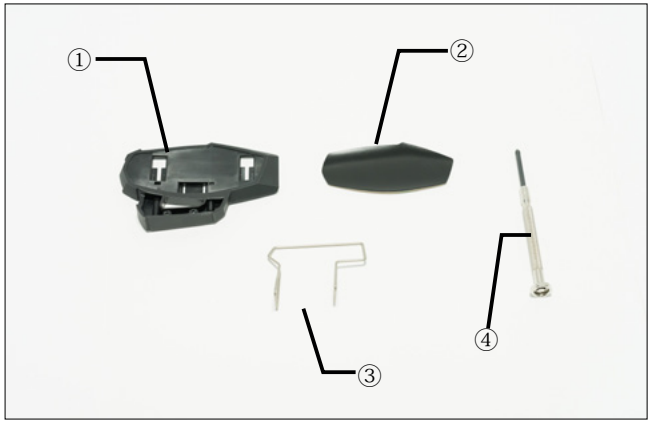
AGV CORSA R

本体を取り付けます。

配線は内装の内側にあるため、目立ちません。

以上で取り付け完了です。

ベースプレートの組立①



用意するもの

名称	数量
①ベースプレート本体	1
②保護ラバー	1
③ワイヤークリップ	1
④プラスの精密ドライバー (#1)	1

保護ラバーを貼り付ける前に、貼付箇所を脱脂します。

保護ラバーを貼付部の角に合わせながら貼り付けます。

全体に浮き等がないようにしっかりと貼り付けます。

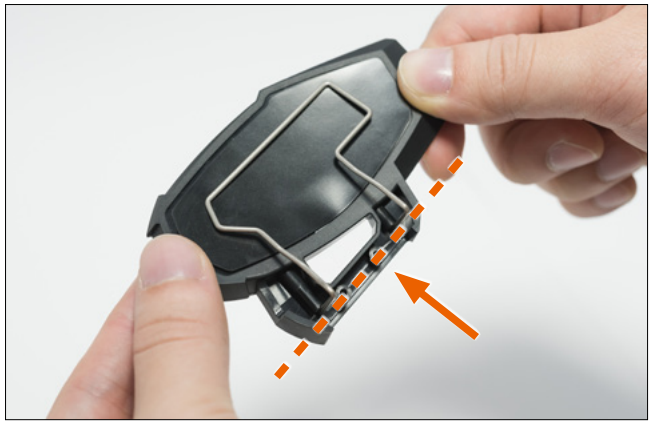
SYGN HOUSE

ベースプレートの組立②

ドライバーを使用してワイヤークリップホルダーとプレートを固定しているネジを２箇所外します。

ワイヤークリップホルダーを取り外します。

２箇所の穴へ、矢印方向にワイヤークリップを差し込みます。



ワイヤークリップは上図のように壁に当たるまでしっかりと押し込みます。

ワイヤークリップホルダーをガイドに沿って取り付けます。

ドライバーを使用してプレートとワイヤークリップホルダーを固定します。

ベースプレートの組立③

ネジを締め終わったら必ずプレートとワイヤークリップホルダーの間に隙間がないことを確認して下さい。

＜注　意＞

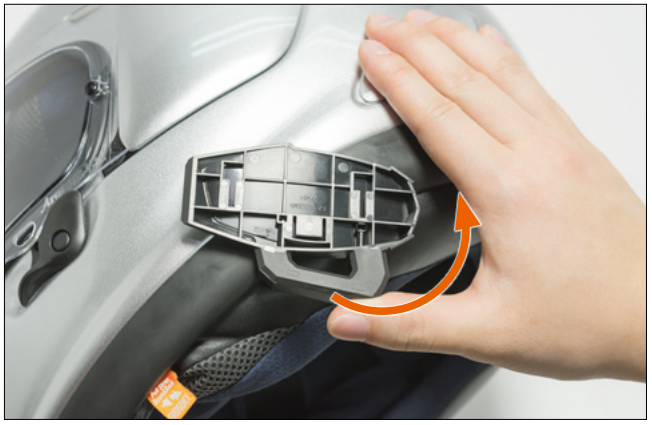
プレートとワイヤークリップホルダーの間に隙間がある状態でヘルメットに取り付けご使用されますと、ベースプレートが破損し、最悪の場合、本体が脱落する危険が御座います。

完成。

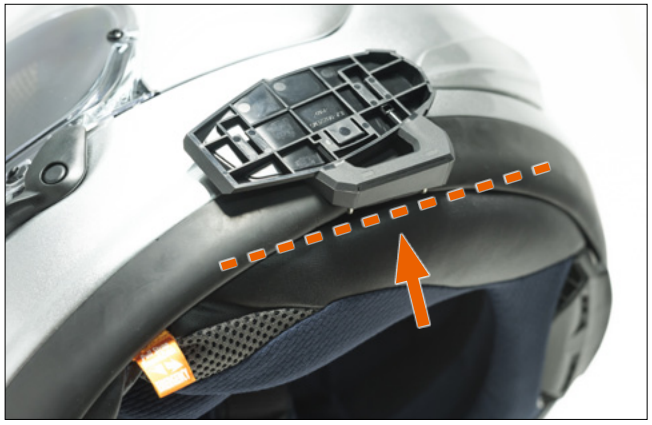
ベースプレートの取付手順

ベースプレート先端をヘルメットの縁に押し付けながら矢印方向へ押し込みます。

≪ご注意下さい≫
ワイヤークリップ部分を大きく広げてのお取付けは必要以上の負荷が掛かり、ベースプレートの破損原因となります。



矢印の方向に回しながら押し込みます。



縁にしっかりと当たるまで押し込み完了です。

SYGN HOUSE